

国際シンポジウム「ドイツ、韓国、日本におけるブレヒト」

[同時開催] 韓国の演劇界におけるベルトルト・ブレヒトー上演作品写真展 2006～2011

[トップ](#) >> [イベント](#) >> [国際シンポジウム「ドイツ、韓国、日本におけるブレヒト」](#) [同時開催：写真展]

このページの情報は、終了した事業に関するものです。

アンドレア 「英雄のいない国は不幸だ！」
ガリレオ 「違う、英雄を必要とする国が不幸なのだ。」
(ブレヒト『ガリレイの生涯』第13場)

20世紀の演劇を大きく変えたベルトルト・ブレヒト。彼の作品、演出手法はドイツのみならず、韓国や日本の演劇界にも大きな衝撃を持って受け入れられてきました。

1988年のソウルオリンピック開催まで、韓国ではブレヒトは出版も上演も許可されていませんでした。その後、ブレヒト作品の多くが翻訳され、堰を切ったように上演され始めます。その立役者が漢陽大学（ソウル）のイ・ウォンヤン（李源洋）教授でした。

ブレヒトは私たちに今、何を語りかけようとしているのか。イ・ウォンヤン教授の来日にあたり、ブレヒトの魅力を探るシンポジウムと写真展を開催します。

[国際シンポジウム「ドイツ、韓国、日本におけるブレヒト」写真展 韓国の演劇界におけるベルトルト・ブレヒトー上演作品写真展 2006～2011](#) [関連イベント](#)
[イ・ウォンヤン（李源洋）との対話](#)

国際シンポジウム

「ドイツ、韓国、日本におけるブレヒト」

ドイツ、韓国、日本でのブレヒト受容を探りながら、ブレヒト演劇の魅力を探ります。

日時	2013年3月16日（土） 13:30～18:15
会場	江之子島文化芸術創造センター 4階ルーム2 アクセス
料金	無料
定員	50名（要事前申込）
内容	挨拶：ライナー・マンケ（大阪ドイツ文化センター 館長） 報告： 1. 木村英二（大阪産業大学）： 叙事的演劇の理論と実際－『セツアンの善人』を例に 2. 菊川徳之助（演出家、日本演劇学会副会長）： 私（日本人）のブレヒト演出－『セツアンの善人』『おふくろ』 『コーカサスの白墨の輪』を中心に 3. ヨアヒム・ルケージー Joachim Lucchesi（カールスルーエ大学）： 「でも何か欠けている」－『マハゴニー』についての推測 (休憩30分) 4. 市川明（大阪大学）： ブレヒトと広島・長崎－『ガリレイの生涯』をめぐって 5. イ・ウォンヤン 李源洋（漢陽大学）： 韓国の舞台におけるベルトルト・ブレヒトー上演作品2006～2011 (休憩15分)

	<p>ディスカッション</p> <p>※同日18:30～20:30に同館地下1階のカフェ「circle」で、ドイツ総領事館主催の懇親会を開催します。 参加費：一般1000円、学生500円（要事前申込）</p>
お申込先	<p>(江之子島文化芸術創造センターではありませんのでご注意ください)</p> <p>(シンポジウム・懇親会ともに) 大阪ドイツ文化センター（担当：文化部/西村） sbpo@osaka.goethe.org</p>

写真展

韓国の演劇界におけるベルトルト・ブレヒト上演作品写真展 2006～2011

1988年のソウルオリンピック開催まで、韓国ではブレヒトは出版も上演も許可されていませんでした。その後、ブレヒト作品の多くが翻訳され、堰を切ったように上演され始めます。その立役者が漢陽大学（ソウル）のイ・ウォンヤン（李源洋）教授でした。

彼は翻訳のみならず、ドラマトゥルクとして舞台上演に関わり、舞台写真を撮り続けました。本写真展では、2006年から2011年までに韓国で上演されたブレヒト作品の中から彼の代表的と思われる写真作品20点を紹介します。

期間	2013年3月12日（火）～3月24日（日） 11時～19時（日曜は11時～16時） ※月曜休館
会場	江之子島文化芸術創造センター 4階ルーム2 アクセス
料金	無料

関連イベント

イ・ウォンヤン（李源洋）との対話

韓国におけるブレヒトの翻訳や上演にまつわるエピソードを大阪大学の市川明教授が聞きだします。

日時	2013年3月19日（火） 19:00～20:30
会場	江之子島文化芸術創造センター 4階ルーム2 アクセス
料金	無料
定員	50名（当日先着順受付）
ゲスト	イ・ウォンヤン（李源洋）
聞き手	市川明（大阪大学文学部教授）

▼イ・ウォンヤン（李源洋 Rhie Won Yang）

漢陽大学校独文科教授（ソウル/韓国）。

韓国DaF（外国語としてのドイツ語）学会前会長、韓国ブレヒト学会前会長、韓国独文学会前会長。ドイツ連邦共和国一等功労十字章 受賞（2001年）。

韓国ベルトルト・ブレヒトセンター、密陽演劇村 創設（2007年）。

ブレヒト作品をはじめ、多数の戯曲翻訳やドイツ演劇史に関する書籍を出版するかたわら、演劇写真家としても活動している。



（国際シンポジウム・写真展・関連イベントすべて）

主催：科研費プロジェクト「ブレヒト、ヴァイゲルとベルリーナーアンサンブル」

大阪ドイツ文化センター

大阪府立江之子島文化芸術創造センター

協力：ドイツ連邦共和国総領事館

後援：阪神ドイツ文学会、日本演出者協会

サイトポリシー

指定管理者

バナー広告募集

プレスリリース

- > enocoについて
- > フロアガイド
- > enocoのつかい方
- > 空き状況
- > アクセス

- > クリエイティブルーム
- > サポーター募集
- > メールニュース登録
- > Q&A
- > お問い合わせ
- > プラットフォーム
形成支援事業

- > enocoのプロジェクト
- > enocoの学校
- > 大阪府20世紀コレクション
- > ライブラリー
- > サポーターものづくりルーム

Like 943

ツイート

